



レイダウンされたアルミ製のダイヤフラム式ダンパーが低重心設計をさらに強調。シャフトドライブ4WDのスタンダードなデザイン



ワイドトレッドがグラベルでの優れた走破性を予感。各パーツの精度も高く、ギヤボックスの耐久性もしっかりと配慮されている



アルミ製の偏心式モーターマウントは、シャシーにクランプマウントされ、回転することでバッククラッチ調整が行える構造だ



リングギヤ/ペベルピニオンはヘビーデューティーなメタルギヤを採用。各部には1.5mm~2.5mmの六角ビスが使用され、堅牢性も高い



コンパクトなアップライトとロングスパンのサスアーム。車高、ストロークとともに十分に確保されており、ショック吸収性が抜群だ



専用のラリーロックタイヤと、つや消しメッキ仕上げのホイール。当時のWRCではトレンドのスタイルで、メーカー公認だ

## [迫力の雄姿をリアルに再現!]



1986年のWRCを戦った、ランチアデルタS4を実感豊かに再現。フォグランプ回りの造形など、本場生まれのこだわりを実感する

グループBらしく、リヤ回りをスパッと切り落としたフォルムが新鮮。モンスター車の走りを再現できる期待のRCカーである



### WRCドライバー公認のディテール!

元WRCドライバーであるミキ・ビアンキ氏が監修し、メーカーのオフィシャルライセンスを受けて製造されるので、ディテールのクオリティは極めて高い。細かなスポンサーマークなど、ファンにもたまらないキットである!



ボディのモールドも裏面で実車の特徴をとどめており、ランプ類にはLED用のマウントも付属する

され、ドレスアップの楽しみも広がりそうである。  
ラリー専用に開発したプロフクタイヤは、デルタS4に採用したディフュシタイプホイールと合わせて本物同様の足回り。ターマックからグラベルまで走りのフィールドを選ばず、マルチバーパスに走行可能なのは頗もしい限りだ。

気になるシャシー構成も、過酷なオフロード走行に備え、オーソドックスでタフな内装。底面をフラットにした樹脂製バスタブシャシーは、カーボン製のアーバーディックと組み合わさせて十分な剛性を確保しながら、低重心化を両立。コンベンションナルなスタイルながら、高いレベルの基本性能を維持している。

ドライブトレーンはシャフトドライブ4WD方式を採用しているが、3分割式のプロペラシャフトをセンターにレイアウトして、駆動ロスを軽減したスタンダードな構成。モ

# [伝説のグループBモンスターがRCラリーシーンでほえる!]



## 2012秋のホビーショー迫る! NEW MODEL SPARKS! 最新モデル一挙登場

編集部=文 Text by RC Magazine 吉野政樹=撮影 Photographs by Masatake Miyano  
日光無線販売店 取材協力

### ASUKA CREATE "THE RALLY REGENDS" DELTA S4 1986

■アスカクリエイト TEL:072-292-5230  
価格・発売日

1/10 EP TRAILING

V I-PERブランドを展開し専用タイヤやボディなど、ラリーモデルに関するアクセサリーを次々とラインアップしているアスカクリエートから、ついに真打ちとなるコンプリートキットがデビュー。ヨーロッパはイタリアのITAL TRADINGが開発したラリー専用シャシーを国内にリリースすることになった!

イタリアが生んだ伝統のラリーカーに特化したボディラインアップが評判のラリー・レジニアンド・シリーズに、待望のシャシー付きキットが登場。その第一弾に選ばれたのが、パワーリー競争が激化していた80年代のWRCで強さを誇っていた怪物マシン、ランチアデルタS4である。

実車のヒストリーをひも解いてみると、このマシンは1986年のWRCに参戦。グループB規定により



ラリーの本場、ヨーロッパからやってきた注目マシン。オーソドックスなデザインは、タフな走行性能と、高い信頼性を約束している

SPECIFICATION>>

全長	430 mm
全幅	197 mm
ホイールベース	257 mm
全装備重量	1570g



低重心設計のバスタブシャシーは耐久性の高いシャフトドライブ4WDのドライブトレーンを採用。メンテナンス性も良好である

製造された基本スペックは、18もの直列4気筒DOHCツインチャージャーエンジンをミッドシップに搭載。最高600馬力の出力を得ておらず、車体重量890kgの軽量ボディと組み合わせて十分な走破性を発揮する。まさにモンスターとして走行する名車だけに、このモデルのRC化はファンにとって嬉しいニュースである。

ファットグループのオフィシャルライセンスを受けて製造されるボディはプリント塗装＆カット済みで、細部のディテールやスポンサーステッカーに至るまで実車同様に精巧に再現されているのが特徴。WRCの興奮がこのモデルを通して伝わってきそうだ。

さらにライト回りのモールドも実感。フロントに追加されたフォグランプにはLEDマウントも付属できそうだ。

ターボのパワーを効率よく引き出し、負荷のかかりやすいグラベルでも、余裕あるスピードでダイナミックな走破性を可能にしている。もちろん、すべてのドライブユニットはダストカバーで覆われており、防塵性は極めて高い。ハードな走行でも根を上げないスチール製のリングギヤは、滑りのないギヤデフで4輪を駆動する仕組みだ。もちろん、すべてのドライブユニットはダストカバーで覆われておらず、防塵性は極めて高い。ハードな走行でも根を上げないスチール製のリングギヤは、滑りのないギヤデフインは非常に洗練されている。高精度なアルミ製のダンパーユニットは、レイダウンマウントされ、十分なグランドクリアランスとサスペンションクロークを得ており、信頼性も高まっている。高度な走行性能と、スケール感溢れるボディワーク。ラリーレジェンドの登場により、国内でもカテゴリーの活性化につながりそうだ。今後の展開にも要注目のブランドである！